

—◆ ～ 自動車に学ぶモノづくり ～ ◆—

自動車業界のモノづくりを学び、自社のモノづくりを改善しましょう

主催:公益社団法人 日本技術士会 神奈川県支部
第14回テクノセミナー(CPD 対象)

日 時 : 平成28年12月10日 (土) 13:30~16:40(受付開始 13:00~)
場 所 : シルクセンター地下会議室(案内図は裏面)

今回のテクノセミナーは「自動車業界のモノづくりを勉強して、自社のモノづくりを改善していただく」が基本コンセプトです。自動車業界は、安全性向上、環境改善対応等をグローバルで展開して、新技術への対応を適宜推進しています。中長期課題への対応方法を学び、自社の中長期計画に反映して頂きたいと考えます。更に、「新車生産の円滑量産開始を実現する仕事の進め方」から、新規製品のモノづくりの円滑な推進が可能と考えます。手戻りの防止と、情報の見える化で、モノづくりを改善できることを、解説致します。

皆様のご来場をお待ちしております。

講師及び講演概要



講師:江口 正芳 (技術士 機械部門、自動車)

トヨタ系列の関東自動車工業(現トヨタ自動車東日本)で、30年間、トヨタ車の開発業務に携わった後、関東シート製作所(現トヨタ紡織東北)で10年間、トヨタ車用シート・ドアトリム等の内装部品の開発、生産技術、工場の生産準備を担当。退職後、江口技術士事務所を開設、品質・生産性向上活動を10年、ご支援中。

講演 1:「自動車業界の中長期対応動向に学ぶ」

日本の自動車業界は、安全性向上、環境改善対応等で、世界をリードする技術開発が展開されております。この技術開発の進め方が、自社の技術開発に活用できるのではと考えます。更に、今後の市場環境の変化、IoT 対応の考え方を、自社の中長期計画に反映して頂きたいと考えます。

講演 2:「新車の円滑量産開始を実現する仕事の進め方に学ぶ」

新車の量産開始が、グローバルで展開される自動車業界は、新車の円滑な量産開始を実現する仕事の進め方が実践されております。開発段階の初期から量産開始まで、全関係部署が参画する地道な SE 活動を展開して、QCD の目標を達成しております。自社の新規製品生産のプロセスを、どのように管理、展開すれば、「QCD 目標を確保した量産開始が可能になるか」解説させていただきます。

定 員 : 40名

会 費 : 正会員(A)2,000円、準会員(B)・学生 1,000円、非会員(C) 2,000円

協賛団体会員(D):無料(1社2名)

申し込み締切日: 平成28年11月25日 (定員になり次第締切り)

申込方法 : ◆技術士会正会員、準会員:技術士会 HP『会員コーナー・行事参加申込』から、又は Eメールにて、kanagawa@engineer.or.jp 又は次頁の申込書でFAX。

◆一般の方(非会員、学生)、協賛団体会員:次頁の申込書で、FAX 045-210-0338 まで

★無断欠席された場合は、費用を後日請求させていただきます。

お問い合わせ先 : 公益社団法人 日本技術士会 神奈川県支部事務局

横浜市中区山下町1番地 シルクセンターM209

TEL : 045-210-0337、FAX : 045-210-0338

参加申込書

公益社団法人 日本技術士会 神奈川県支部 主催 一般講座(第14回)

—◆ ～自動車に学ぶモノづくり～ ◆—

自動車業界のモノづくりを学び、自社のモノづくりを改善しましょう

開催日時 平成28年12月10日(土) 13:30 ~ 16:40

会場 シルクセンター地下大会議室 (横浜市中区山下町1番地)

申込 FAX : 045-210-0338 (公益社団法人日本技術士会神奈川県支部)

氏名(ふりがな)	
所属組織 部署名	
連絡先	電話: _____ FAX: _____ Eメール: _____
日本技術士会会員 の方の記入欄	部門: _____ 正会員、準会員 (どちらかに○印を)



アクセス JR 関内駅・石川町より徒歩 15分

地下鉄みなとみらい線 日本大通り3番出口より徒歩 4分

JR 横浜駅 東口バスターミナル②番のりば (市営バス)

JR 桜木町駅 バスターミナル②番のりば (市営バス)

神奈川自治会館下車 徒歩 3分